



神奈川県立中原養護学校 学校便り

# Nakahara News

神奈川県立中原養護学校

第4号 H29. 7.20

今年の梅雨は、梅雨らしくなく、関東地方では真夏のような太陽が降り注ぎ、九州地方では大災害をもたらすほどの集中豪雨でした。被害にあわれた方々のご冥福と一刻も早く日常生活が送れるよう心よりお祈りいたします。

洪水ハザードマップでは、九州北部と同様な雨がこの辺りで降ると多摩川や鶴見川も氾濫の危険があるとしています。(九州北部で記録した降雨量は、多摩川や鶴見川で想定する1000年に1回程度発生する可能性のある降雨量と同量です)

洪水ハザードマップは、県や市のホームページからも入手できますので、明日からの夏休み期間に「ご自宅周辺の災害時危険度」、「もしもの時は、どのような行動が必要なのか」を家族で話し合ってみてください。

学校では、夏休み期間に教員がDIG（災害図上訓練）という学校周辺の危険箇所を確認して、災害をイメージしながらその対応を考える研修会を実施します。

今月は、環境安全グループの取組の一部を紹介します。

## ペンキ作業で、学校が明るく大変身！

中原養護学校では、昭和49年5月27日から現在の校舎で子どもたちが学習を始め、今年で43歳。数えてみると今日で15,760日目になります。

昨年度は、夏休みの職員作業で、昇降口前ピロティの壁を白色に塗り直しました。「明るくなった」との声が上がっています。

また、ここ数年間、春休みに向の岡工業高等学校の高校生がボランティアに来てくれ、バス発着所の壁や円柱、門扉等のペンキ塗り作業を職員と一緒にしています。



白いペイントで明るくなった昇降口前ピロティ



向の岡工のボランティアと作業したバス発着所

今年度は、夏休みに職員作業で中学部廊下のペンキ塗りをする予定です。ピロティからの続きで、壁は白色、中学部のテーマカラーである黄色を取り入れて、廊下の雰囲気を変えてみたいと思います。ご期待ください。

\*裏面に9月の行事予定を掲載しています。予定は変更することがありますので、ご了承下さい。